

研修生からのメッセージ 2011

入学してはや3カ月、集中講義が始まり身の引き締まる思いです。私は小学生の子供が2人おり正職員としても働きながらの受講ですが、同期のサポートをうけながら頑張っています。仲間達にはいつも感謝です。一講義終えるたびに充実した気持ちになり、認定看護師に近づいているんだと実感します。両立できるか悩んでいる方、是非自分のために前に進んでみてください。

はじめは、仕事との両立や、講義の内容についていけるか不安でしたが、今は同じ志を持つ仲間と支えあい、協力し合っただけで楽しい日々を送っています。また、出会った仲間との情報交換は、お互い刺激を受け合う、貴重な場となっています。忙しい日常業務では、立ち止まって考えていなかったことに気づいたり、不妊の分野での学びが深まります。この分野でのネットワークを広げながら、スキルアップ、レベルアップに、ぜひ不妊症認定看護師教育課程で学んでみませんか？

私たち4期生は10名です。みんな仕事をしながら認定教育課程を受けています。それぞれ置かれた環境は違い、年齢も職場もばらばらです。でも入学してから机を同じくしていくうちに不思議と連帯感が生まれ、日々協力しながら頑張っています。私は不妊クリニックで働いていますが、けして環境が整っているとは言えません。人手不足はどこも同じで、働きながら課題やテスト勉強をやるのはやはり大変です。でも学ぶことや新しい友達は、大きな刺激となりこれからの仕事に役立つと確信しています。これからも沢山の仲間が増えることを願っています。

このコースへは、50才という私の人生にとってラストチャンスという想いで挑みました。不妊相談に携わりながら常に感じる不完全燃焼的な自分に、足りないものがなんなのかをここで学んでわかってきたような気がします。それは実践は理論の上に立つということです。まだまだこれから厳しい授業は続きますが、心の通った仲間達と一緒に乗り越えることが今はとても刺激的で楽しみでもあります。

合格発表の1時間後に大地震にみまわれ、通学ができないのではないかとさえ思っていたが、無事に3か月が過ぎました。レポートや試験と仕事との両立は想像以上に大変ですが、不安なことやわからないことは、先生やクラスメイトがサポートをしてくれます。著名な講師からの授業を受けられたり、新しい知識を学べることはとても幸せです。また、学んだことをすぐに職場で実践に生かせることも、通学で学ぶ良さだと思います。ここで一緒に学ぶ、共通する目標を持った友人が全国にたくさんできたことが、自分にとって一番の宝になると思います。

入学当初から、週末ごとに東京に通うことが不安だったのですが、通い始めてみると思いのほか大丈夫でした。環境が変わったことがよい気分転換となり、研修生皆協力しあって楽しく学んでいます。不妊の専門知識だけでなく、普段働いているときはあまり意識しない法律や看護論なども講義にあり、今さらながら、学ぶことの大切さや楽しさを実感しています。

週末に上京。この響きがかっこいい！と最初はわくわく、うきうきだったが、だんだんと飛行機に乗るといのは大変疲れることがわかって、面接での先生の言葉の意味が身に染みて理解できています。でも朝教室に入ってみんなの顔を見ると頑張ろう！！目指す道はみんな同じ。疲れているのもみんな同じ。一人ではないんだ。今は集中講義。聞きなれない講義を新鮮な感覚で受けてます。

不妊看護コースに通い始めて3ヶ月目を迎えました。最初は不安もたくさんありましたが、先生や仲間が心の支えとなっています。今の経験が自分を大きく成長させてくれるのだと信じて、認定試験に合格するまで頑張っていきたいと思っています。